

# 就労継続支援B型事業所における ディーセント・ワークの現状と課題

---

-工業と福祉の融合による可能性-

深尾ゼミナール工福連携プロジェクト



時給 222円

# 京都府最低賃金

時給968円



# 目標

適正な報酬が支払われる  
持続可能な仕組みづくり



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## SDGs開発目標

9 包摂的かつ持続可能な経済成長及び  
すべての人々の完全かつ生産的な雇用と  
ディーセントワークを促進する

# ディーセント・ワーク

「働きがいのある、人間らしい仕事」



# 現状

## 日本の労働政策

最低  
賃金  
引上げ

法定  
雇用率  
拡充

働き方  
改革

ディーセント・ワーク実現



# 現状

## 日本の労働政策

最低賃金  
引上げ

法定  
雇用率  
拡充

働き方  
改革



時給  
222円

就労継続支援B型

# 現状

## 就労継続支援B型（就労系障害福祉サービス）



働くのが困難な方

就労訓練  
機会提供



働く場を得られる

# 現状

就労継続支援  
B型

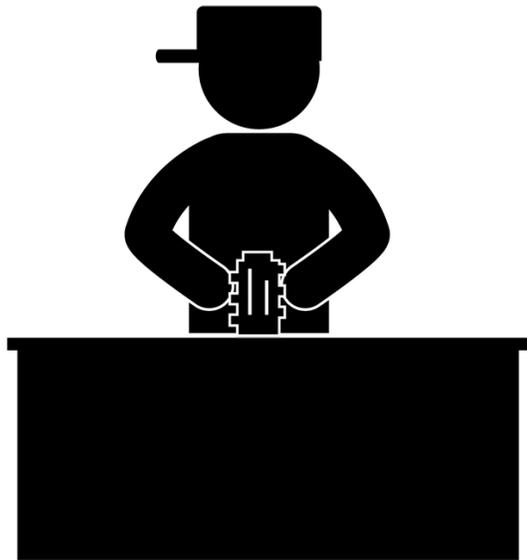


ディーセント・ワーク

# 現状

## 就労継続支援B型

5円／箱1つ



## 賃金

1時間あたり  
約1000円



# 現状

## 就労継続支援 B型工賃

「軽作業に対する成果報酬」

月額 15,776円  
時給 222円

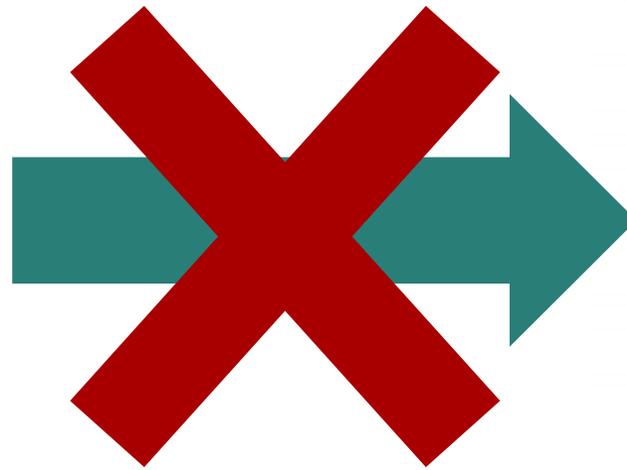
## 賃金

「労働に対する報酬」

時給 968円

# 現状

就労継続支援  
B型



ディーセント・ワーク



B型事業所  
の実態

ディーセント  
ワーク  
実現の  
手がかかり

高工賃実現の  
手がかかり



ヒアリング調査

ヒアリング調査によって明らかになったこと

**1.低工賃がうまれる要因**

2.企業と事業所職員が対等でない

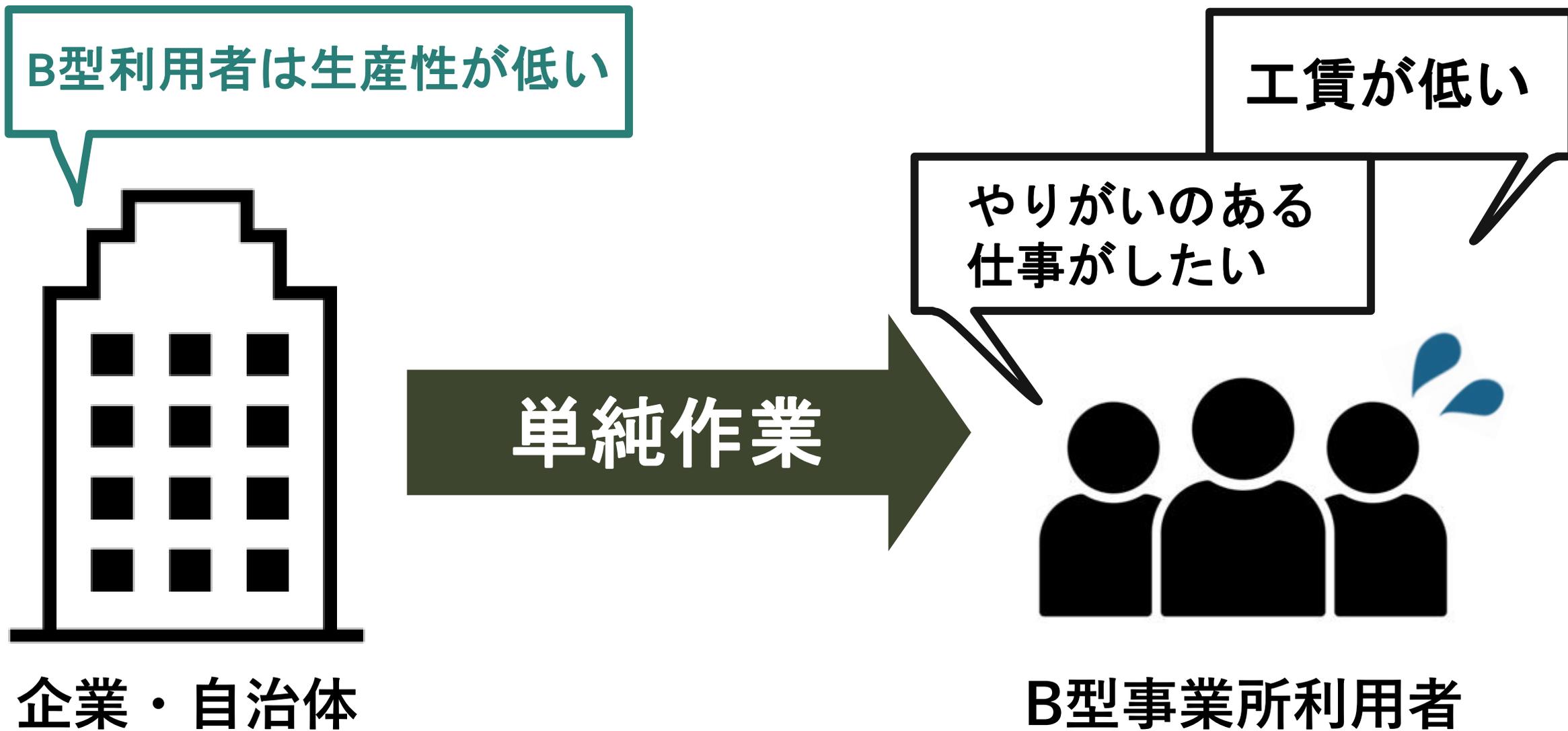
3.高工賃が実現される要因

# 1.低工賃がうまれる要因

就労継続支援B型を利用している人々は  
生産性が低い

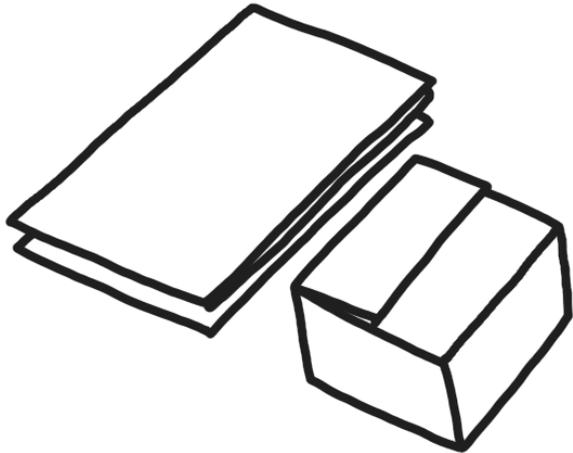


# 1.低工賃がうまれる要因



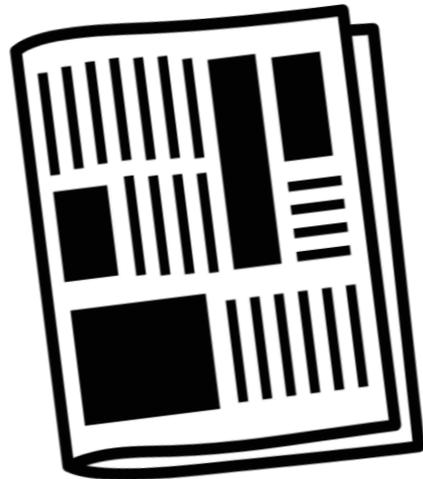
# 1.低工賃がうまれる要因

単純作業

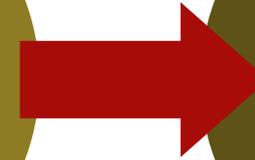


箱折り

新聞を  
袋に入れる作業



低単価

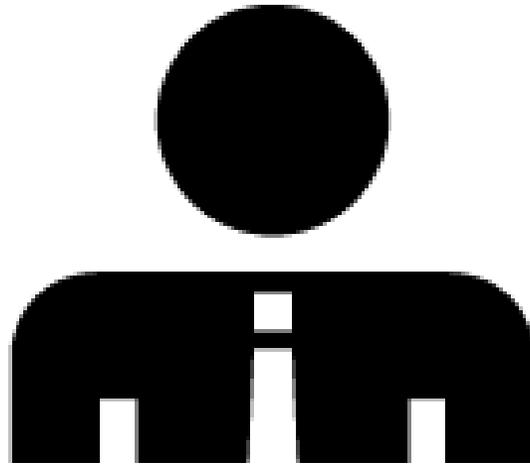


低工賃

「働きがい」が  
ある？

# 1.低工賃がうまれる要因

就労継続支援B型を利用している人々は  
生産性が低い



B型事業所職員

# 1.低工賃がうまれる要因

B型利用者にもできる  
簡単な仕事を！

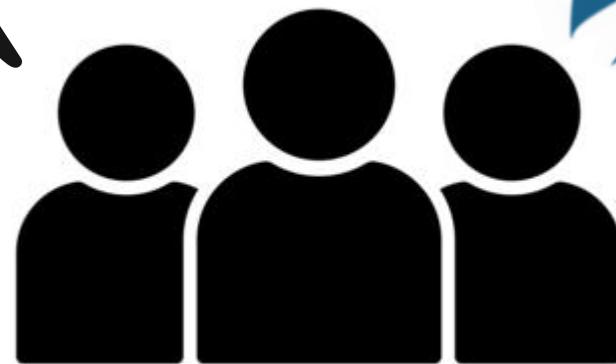
利用者に仕事を  
残さなければ...



B型事業所職員

工賃が低い

やりがいのある  
仕事がしたい



B型事業所利用者

# 1.低工賃がうまれる要因

福祉職員にも固定観念



高付加価値製品生産を試みない



高工賃実現困難

ヒアリング調査によって明らかになったこと

1.低工賃がうまれる要因

**2.企業と事業所職員が対等でない**

3.高工賃が実現される要因

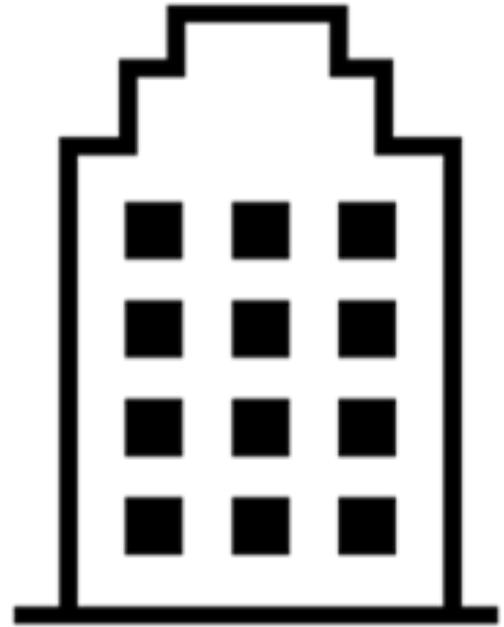
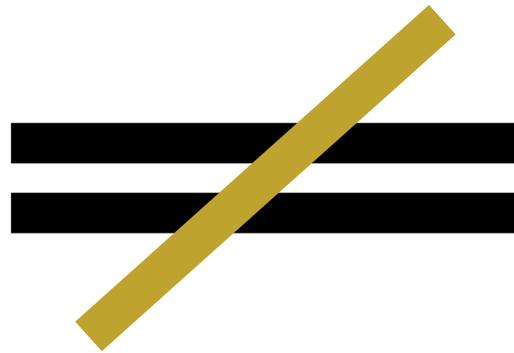
## 2. 企業と事業所職員が対等でない

京都府 障がい者支援施設A

対等な立場ではない

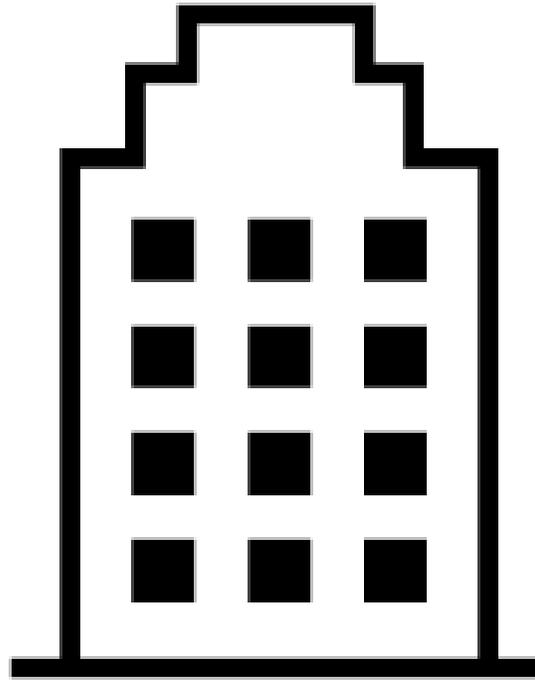


B型事業所職員

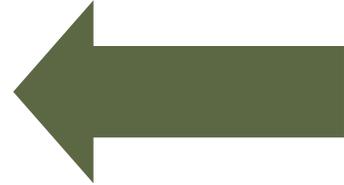


仕事を発注する企業

## 2. 企業と事業所職員が対等でない



B型事業所に対して  
仕事を発注する企業



B型事業所職員

どうにかして  
仕事を発注して  
くれないか？

精神的  
負担を  
感じる

## 2.企業と事業所職員が対等でない

8 働きがいも  
経済成長も



包摂的かつ持続可能な経済成長及び  
すべての人々の完全かつ生産的な雇用と  
ディーセントワークを促進する

ヒアリング調査によって明らかになったこと

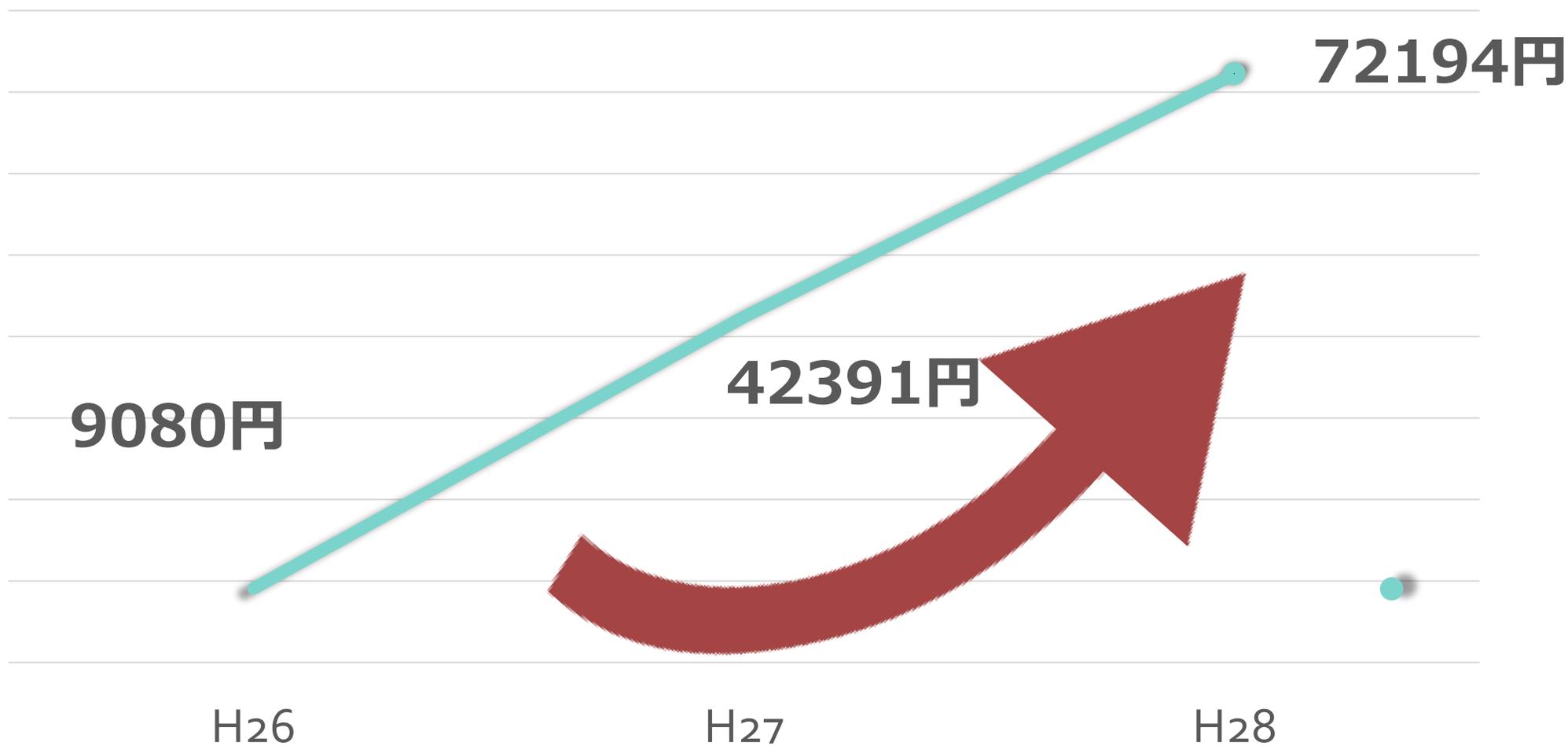
1.低工賃がうまれる要因

2.企業と事業所職員が対等でない

**3.高工賃が実現される要因**

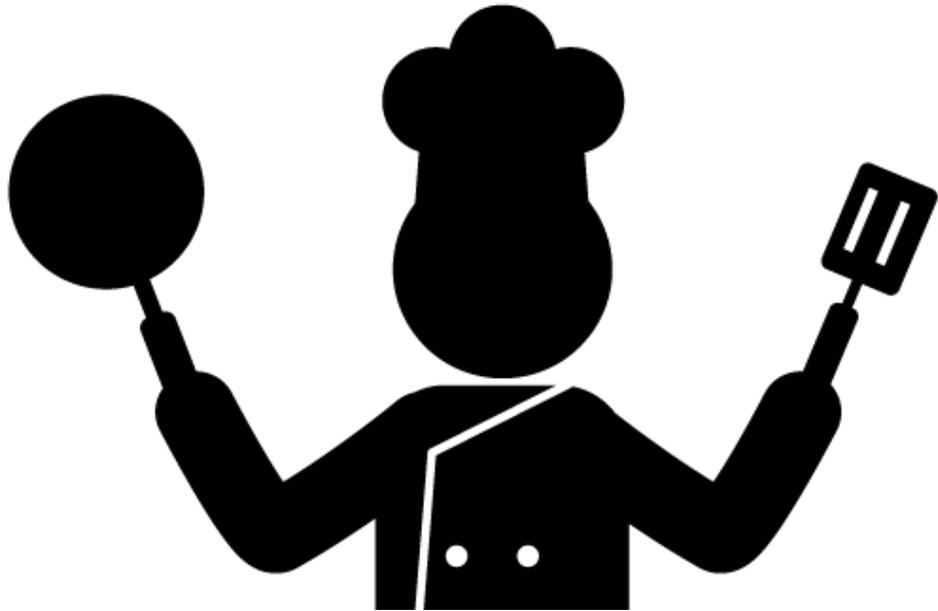
### 3.高工賃が実現される要因

石川県金沢市 事業所Cの月額平均工賃



### 3.高工賃が実現される要因

専門外のノウハウ取り入れ



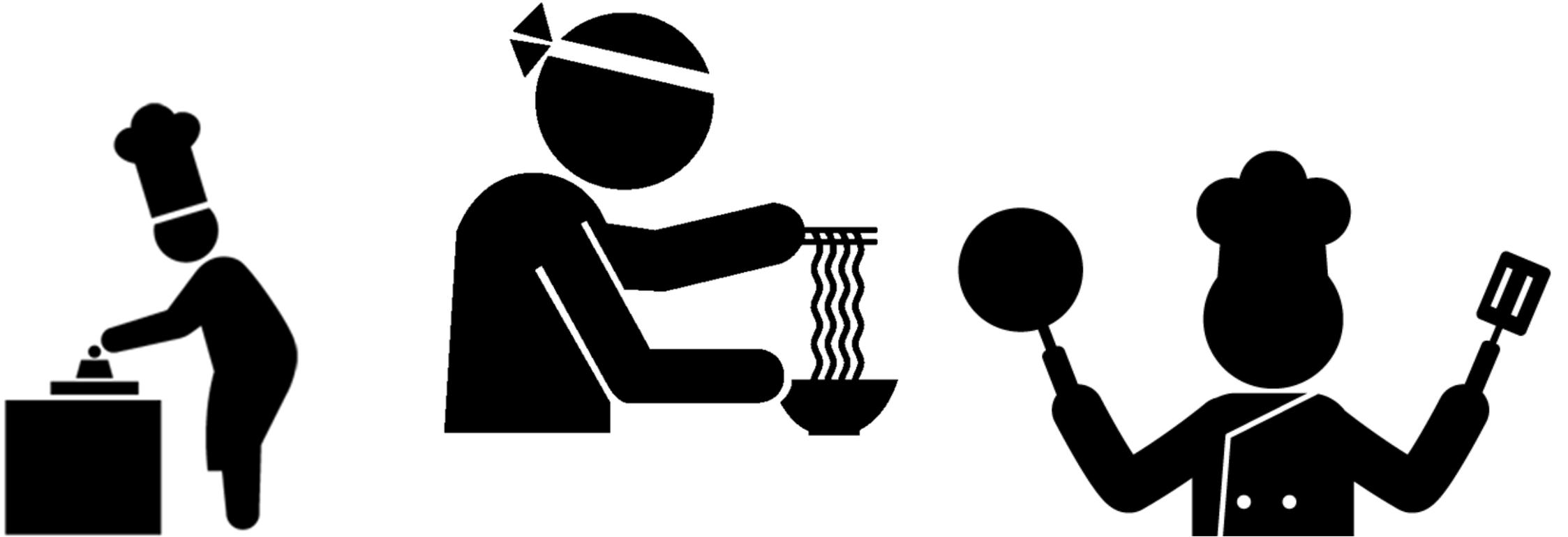
飲食



福祉

### 3.高工賃が実現される要因

事業所C 職員  
ほとんどが元飲食業従事者



# 3.高工賃が実現される要因



### 3.高工賃が実現される要因

#### 事業所Cにおける高工賃実現の仕組み

専門外の  
ノウハウ  
取入れ

高レベル  
製品開発

顧客数  
利益増大

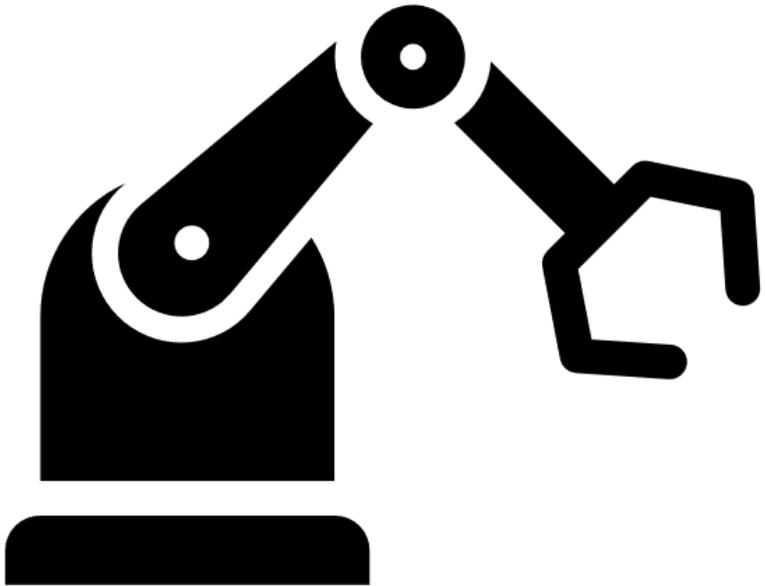
高工賃  
実現

ヒアリング調査によって明らかになったこと

1. 低工賃がうまれる要因
2. 企業と事業所職員が対等でない
3. 高工賃が実現される要因

# 工福連携モデル

# 提案 工福連携モデル



工業



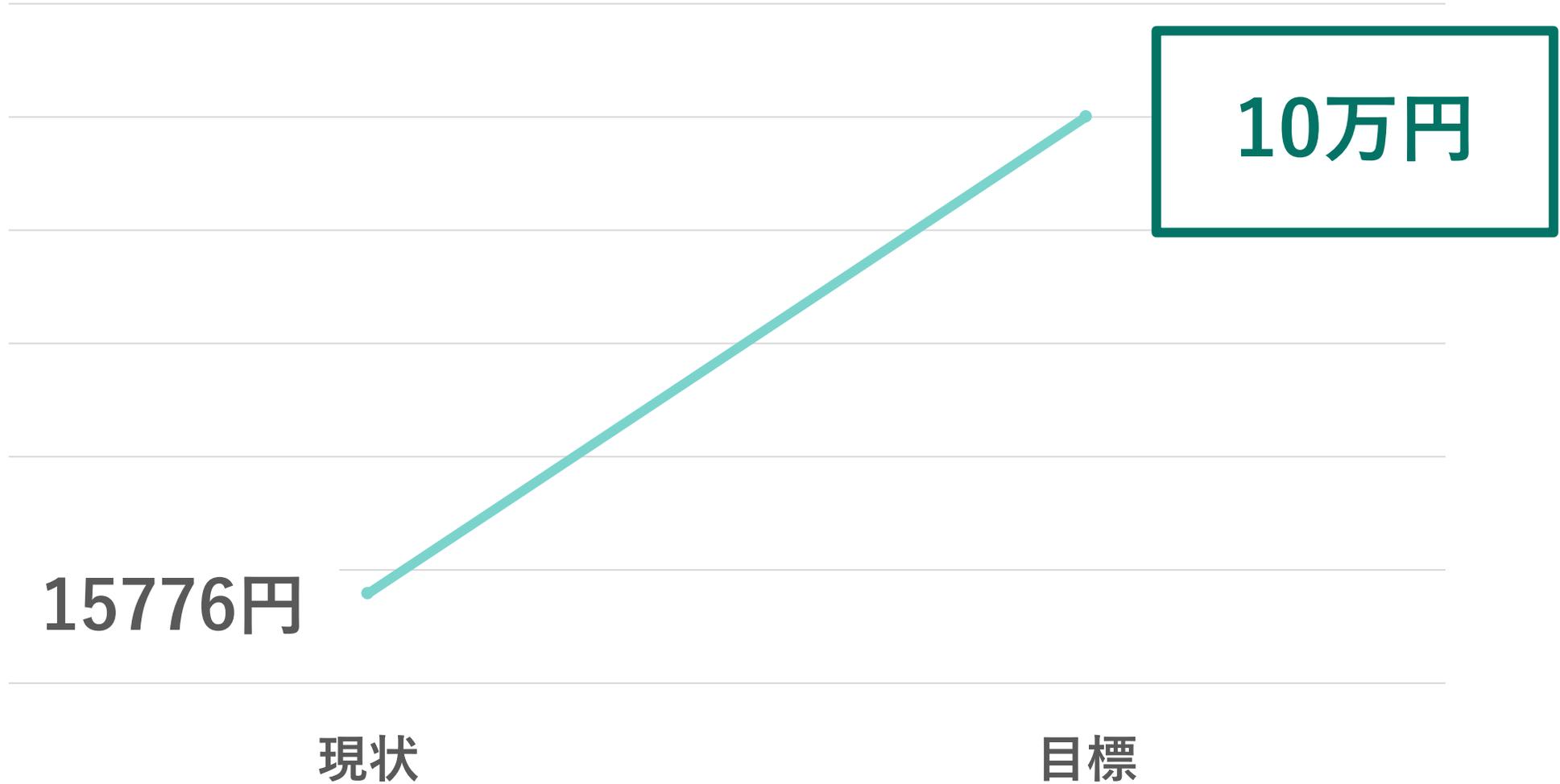
福祉



高工賃実現

# 提案 工福連携モデル

## 1人あたりの月額平均工賃

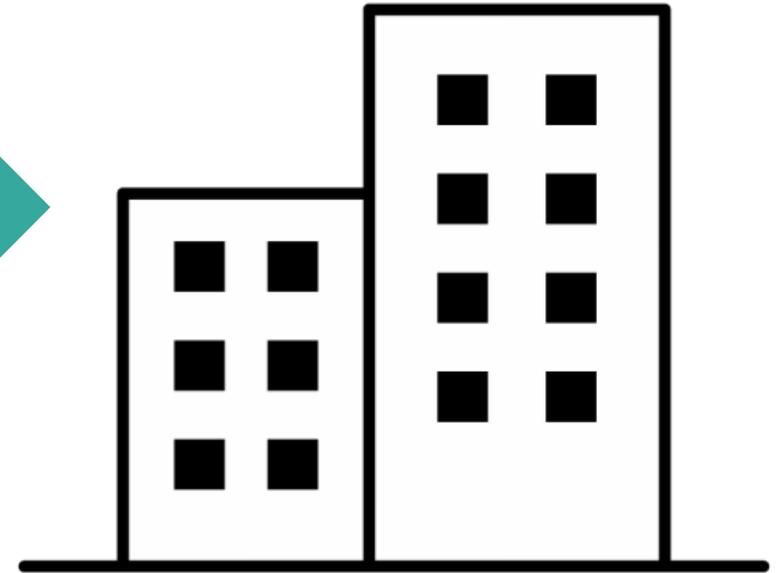


# 提案 工福連携モデル

## 人共存型ロボットをB型事業所に導入



川崎重工 duAro2



B型事業所

# 提案 工福連携モデル

従来のモデル

利用者に  
できる作業

仕事の受注

利用者が  
作業を行う

工賃向上には  
限界がある

工福連携モデル

ロボットに  
できる作業

仕事の受注

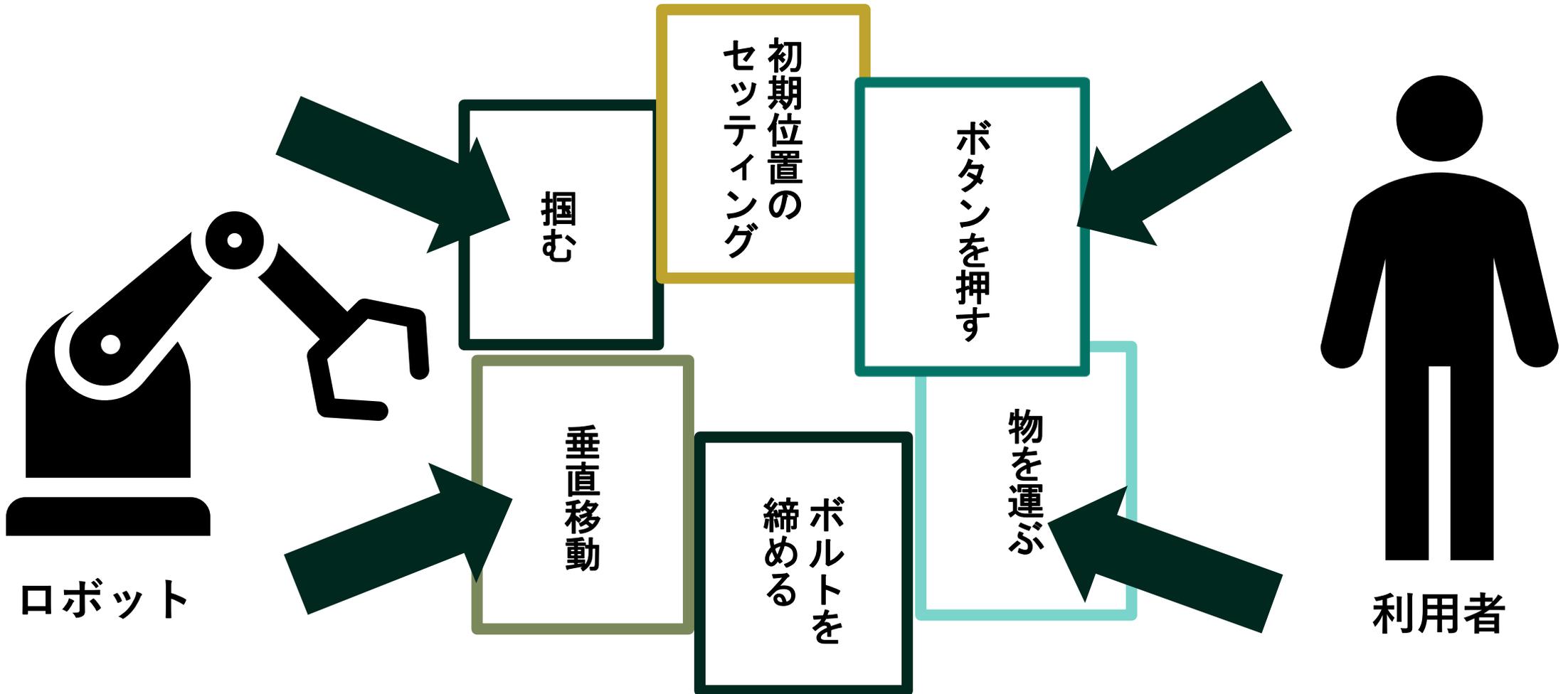
利用者に  
できる作業

ロボットと利用者が  
協働で作業を行う

高付加価値化

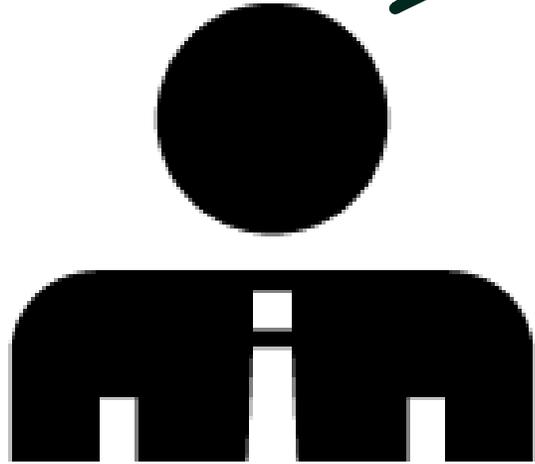
# 提案 工福連携モデル

作業内容を細分化し、カードを作成

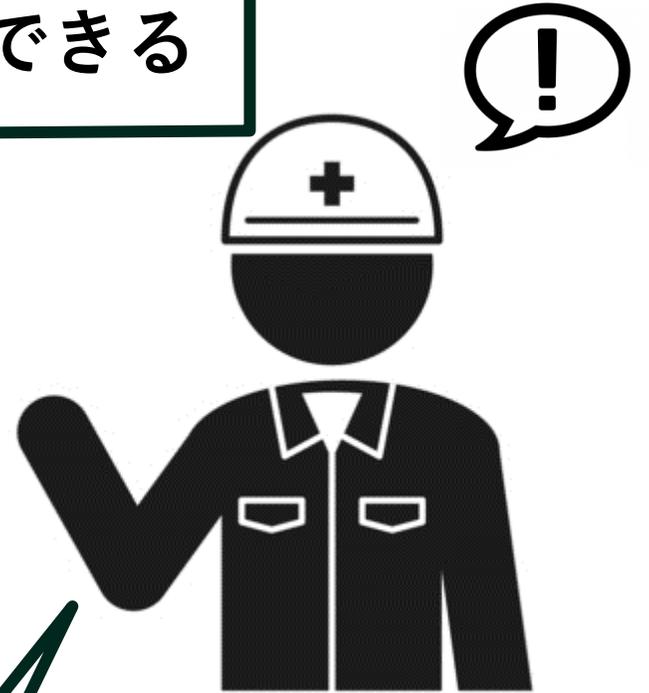
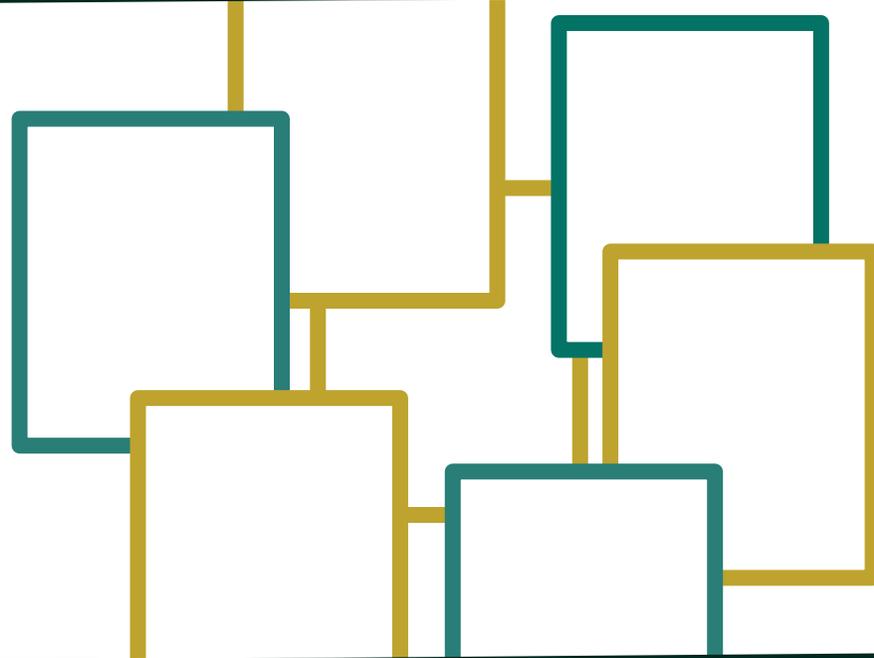


# 提案 工福連携モデル

B型事業所の利用者はこういう仕事ができる



B型事業所職員

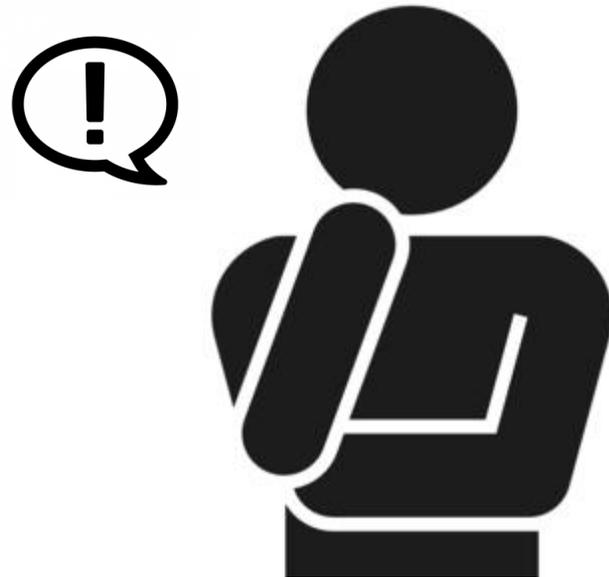


工業分野の企業

ロボットの作業と組み合わせて、  
こういう製品をつくることができる！

新たな仕事の依頼の獲得や創造

就労継続支援B型を利用している人々は  
こういう仕事ができるんだ



# 提案 工福連携モデル

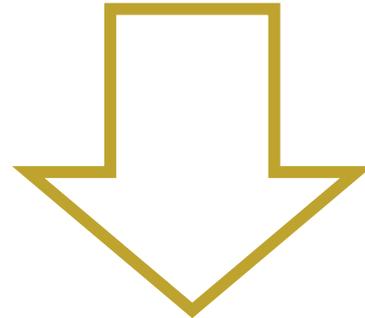
## 企業のメリット

ロボットの導入を比較的安価に行える

ロボットと人材を同時に確保できる

法定雇用率の達成が容易になる

# 工福連携モデル

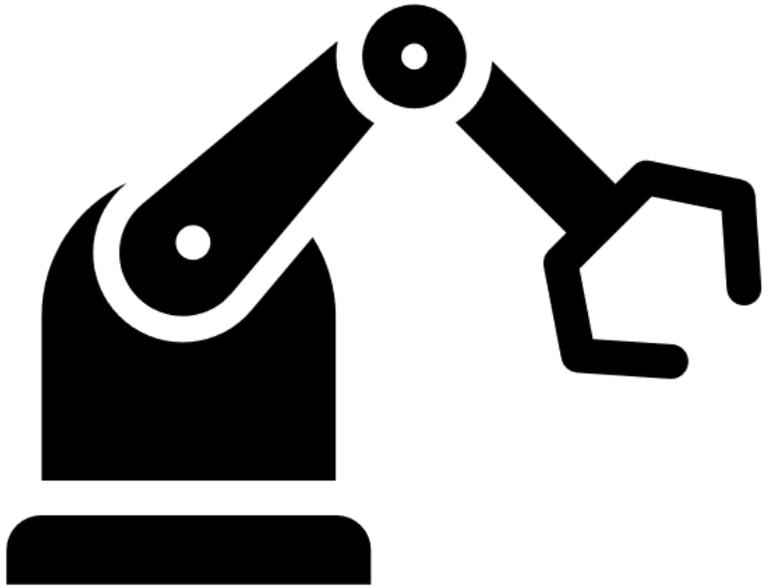


8 働きがいも  
経済成長も



包摂的かつ持続可能な経済成長及び  
すべての人々の完全かつ生産的な雇用と  
ディーセントワークを促進する

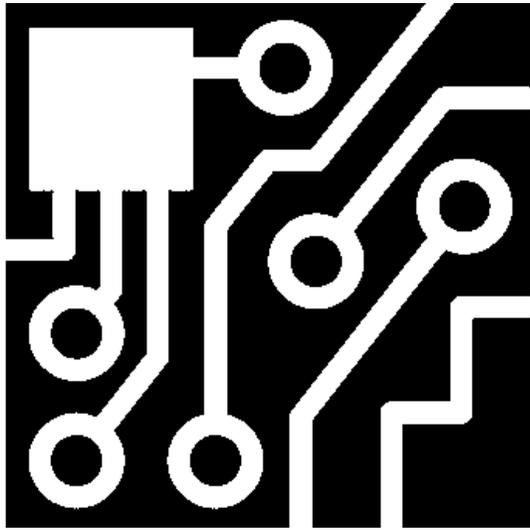
# 提案 工福連携モデル



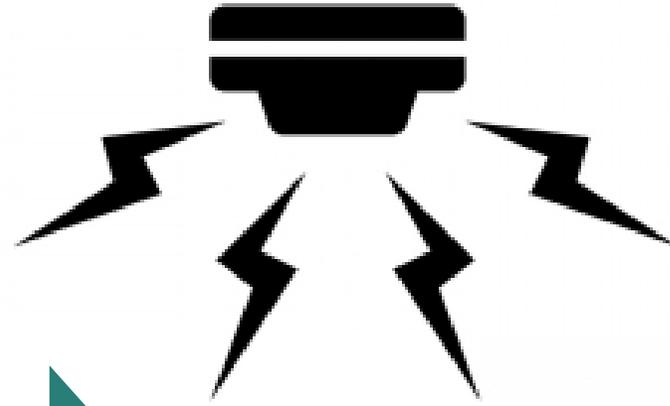
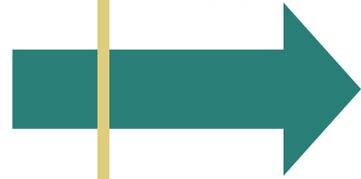
社会福祉法人南山城学園で試験的に実践

# 提案 工福連携モデル

## センサーの基盤

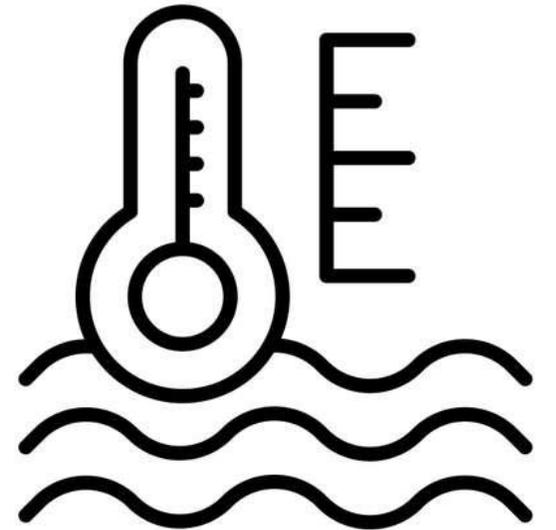


様々な製品に用いることができる  
高付加価値製品

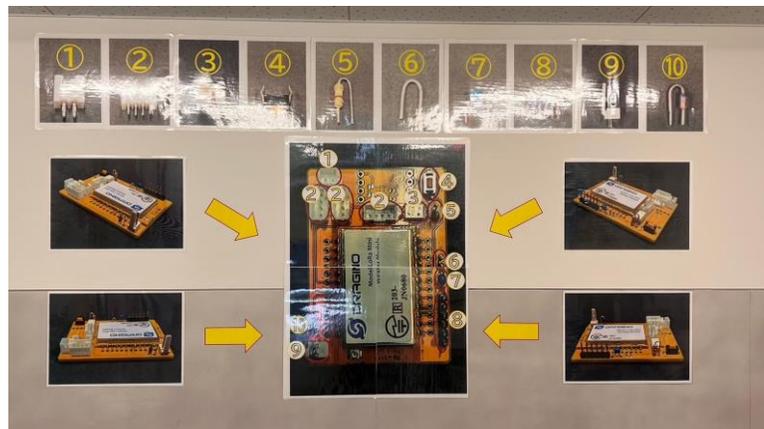


火災  
報知器

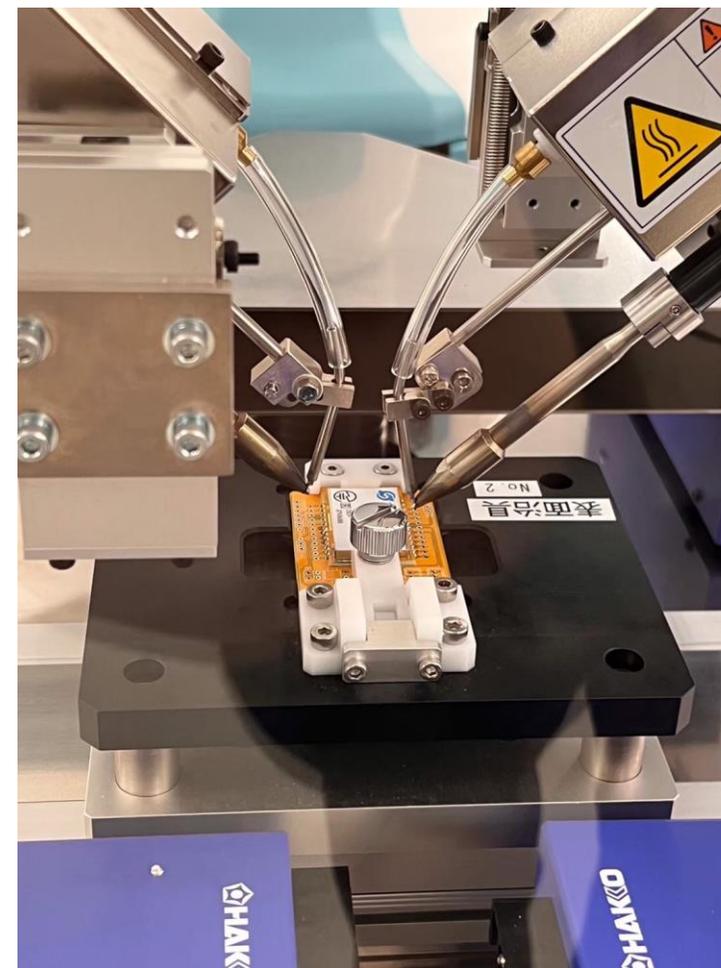
水位計



# 提案 工福連携モデル



利用者さんの組み立て作業



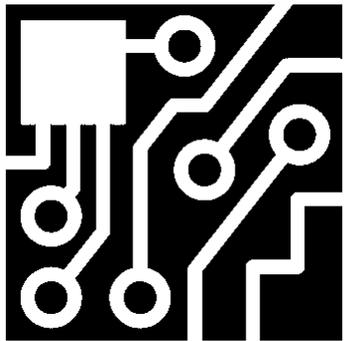
ロボットによる接続

シミュレーション

# シミュレーション

ロボット導入費用：1000万円 基盤1つの原価：8100円

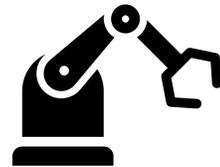
基盤の総売上高  
800万円



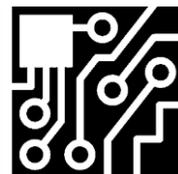
販売額 2万円 × 400個

諸経費 524万円

導入費1000万円 ÷ 5年  
= 減価償却費200万円

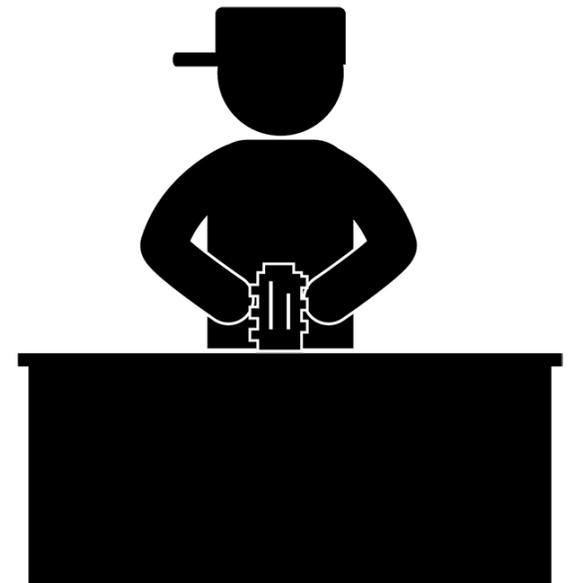


原価基盤8100円 × 400個  
= 324万円

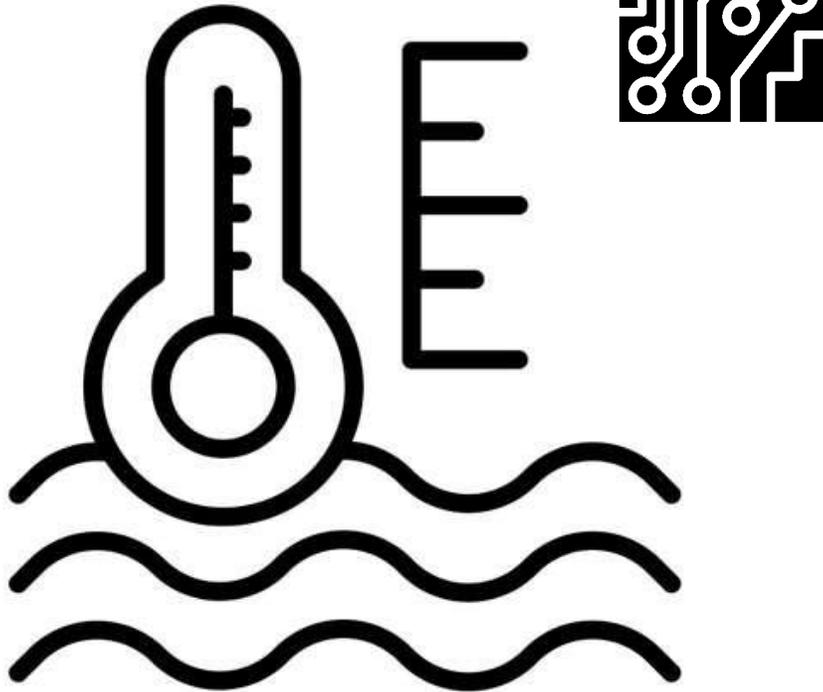


工賃にあてられる 276万円

月額工賃10万円を  
2.3人に支払える



## 展望



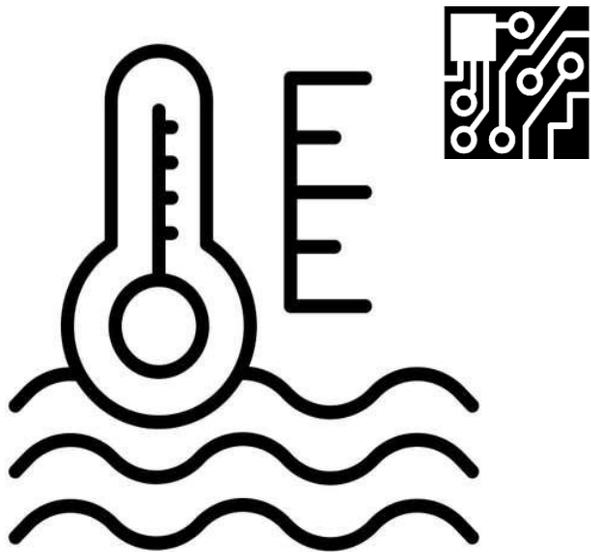
センサーを組み込んだ水位計

- ・ 高付加価値製品
- ・ ミリ単位での測定はできない
- ・ 従来よりも安価で需要がある

# シミュレーション

ロボット導入費用：1000万円 水位計1つの原価：3万円

水位計の総売上高  
4800万円



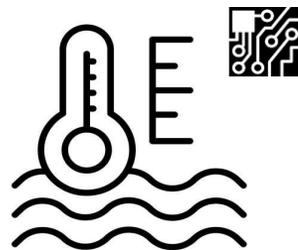
販売額12万円 × 400個

諸経費 1400万円

導入費1000万円 ÷ 5年  
= 減価償却費200万円

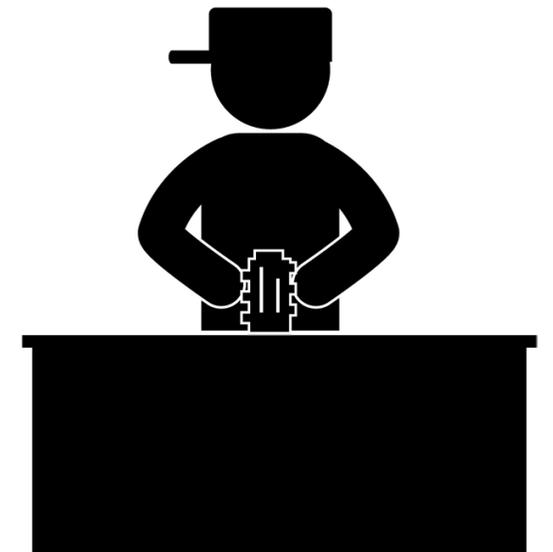


水位計原価3万円 × 400個  
= 1200万円



工賃にあてられる 3400万円

月額工賃10万円を  
28.3人に支払える



固定観念に囚われない発想



新たな福祉像の浸透



ディーセント・ワーク実現

ご清聴ありがとうございました！

---

深尾ゼミナール工福連携プロジェクト